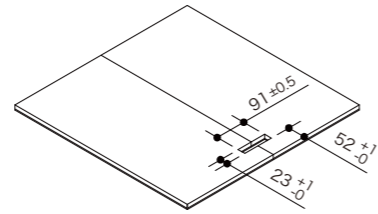
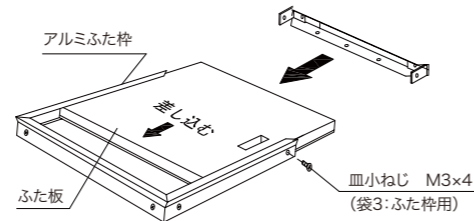


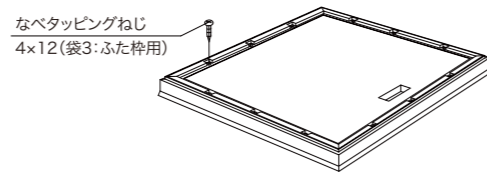
② ①のふた板に回転取手用の穴加工を行ってください。



③ アルミふた枠の1辺が外れるようになっていきますので、②のふた板を差し込みます。その後、取り外したアルミふた枠を側面より2箇所ねじで固定してください。



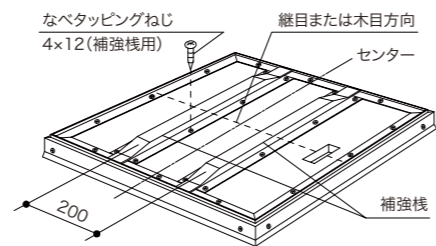
④ アルミふた枠とふた板を、ふた板裏面よりねじで固定してください。(12箇所)



⑤ 補強棧をふた板裏面に固定します。(補強棧1本につき8箇所)

お願い

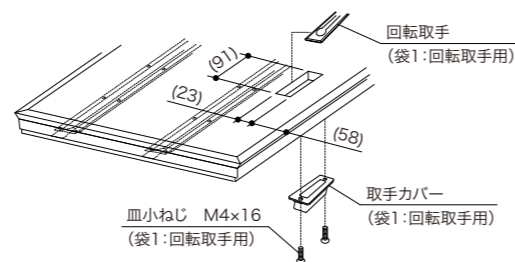
ふた板に継目がある場合は、継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。



⑥ 回転取手を取り付けます。

お願い

手回しドライバーで固定してください。



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社

URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノナタル株式会社

URL <https://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

床下収納ユニット 断熱タイプ 600型(深型)

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

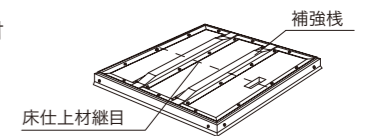
●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

取付けの前に

警告

必ず実行

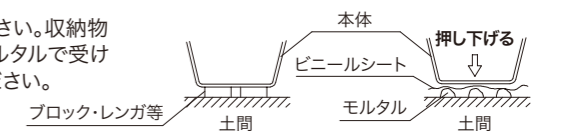
補強棧はふた板の木目に直角に取り付けてください。また、ふた板の床仕上材に継目がある場合には、木目の方向に関係なく継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。ふた板の強度が不足すると、開口部に転落してケガをするおそれがあります。



注意

必ず実行

ブロック、レンガ、モルタル等で本体底部を受けてください。収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。また、モルタルで受ける場合は、本体との間にビニールシート等を入れてください。

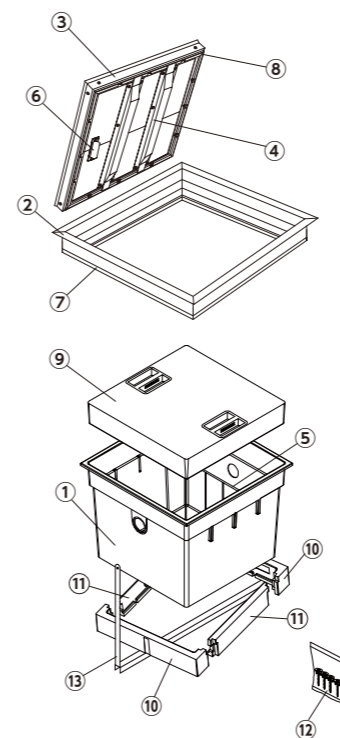


お願い

本体は樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。



各部の名称



各タイプの部品構成

| 部品番号 | 部品名称 | 数量 |
|------|-------------|------|
| ① | 収納庫本体 | 1 |
| ② | アルミ外枠 | 1 |
| ③ | アルミふた枠 | 1 |
| ④ | 補強棧 | 2 |
| ⑤ | 仕切板 | 1 |
| ⑥ | 回転取手・取手カバー | 1 |
| ⑦ | 外枠用パッキン ※1 | 1セット |
| ⑧ | ふた枠用パッキン ※2 | 1セット |
| ⑨ | 中蓋断熱材 | 1 |
| ⑩ | 補助根太断熱材(6K) | 2 |
| ⑪ | 補助根太断熱材(6D) | 2 |
| ⑫ | D固定具 | 4 |
| ⑬ | 本体吊金具 ※3 | 1 |

※1 アルミ外枠に貼り付け済みです。
 ※2 アルミふた枠に貼り付け済みです。
 ※3 オプション部材です。
 ※4 補強棧包装ポリ袋内に補強棧1本につきねじ8本が同梱されています。
 ※5 D固定具包装ポリ袋内に同梱されています。
 ※6 本体吊金具に添付されています。

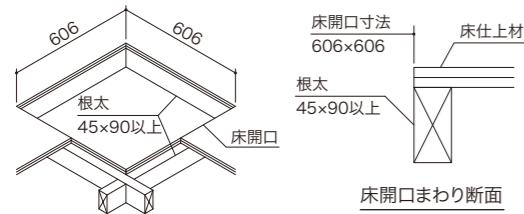
付属部品

| 袋番号 | 部品名称 | 数量 |
|-------------|-----------------|----|
| 袋1 回転取手用 | 皿小ねじ M4×16 | 2 |
| 袋2 外枠用 | 皿ベタタッピングねじ 4×30 | 8 |
| 袋3 ふた枠用 | 皿小ねじ M3×4 | 2 |
| | 皿ベタタッピングねじ 4×12 | 12 |
| 補強棧用 ※4 | 皿ベタタッピングねじ 4×12 | 16 |
| D固定具用 ※5 | コーススレッド 3.8×57 | 4 |
| 本体吊金具用 ※6 | 皿ベタタッピングねじ 4×20 | 2 |

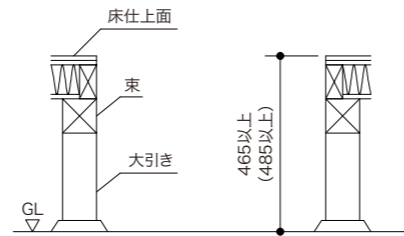
施工方法

1 床の開口と床下構造部

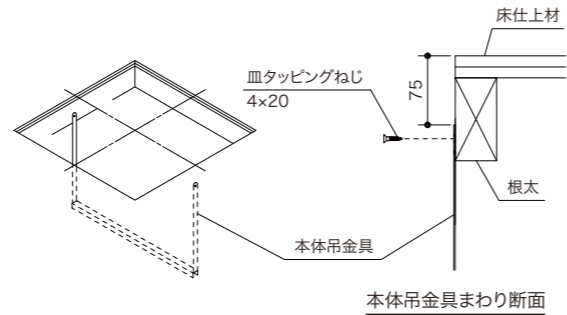
① 床の開口寸法、床下構造部を確認してください。



② 床仕上材から土間までの高さを465mm以上確保してください。
(本体吊金具付の場合は高さを485mm以上確保してください。)

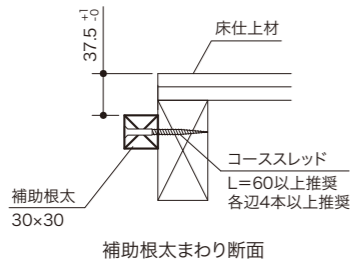


③ 本体吊金具(オプション部材)付の場合は、本体吊金具を開口部の中心に取り付けてください。



2 アルミ外枠の取付

① 補助根太を設置します。

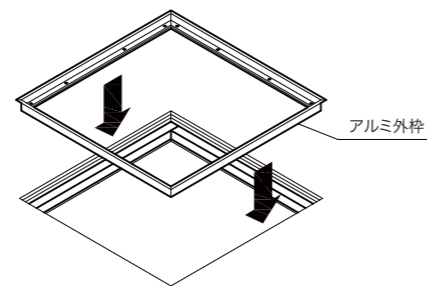


⚠ 注意

❗ お願い

補助根太の取付高さ寸法は必ず守ってください。
取付高さ寸法が違いますと、不良の原因となります。

② アルミ外枠を開口部にはめ込みます。

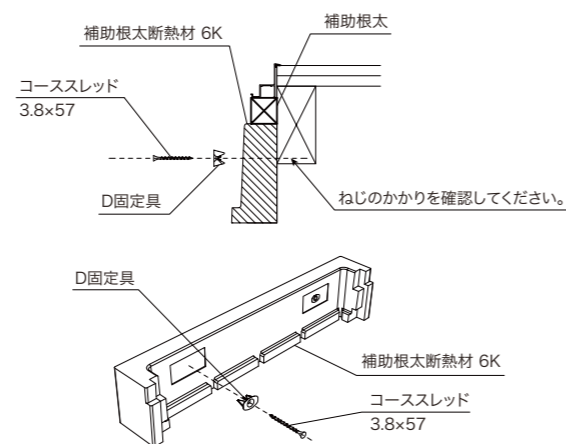


❗ お願い

この時点では、まだアルミ外枠をねじで固定しないでください。

3 補助根太断熱材の取付

① 補助根太断熱材(6K)を補助根太に押し当てながらD固定具で固定します(2箇所)。このとき、補助根太断熱材(6K)は床下点検方向に開口がくるよう注意して組み込んでください。また、D固定具が凹範囲内におさまるように固定してください。



⚠ 注意

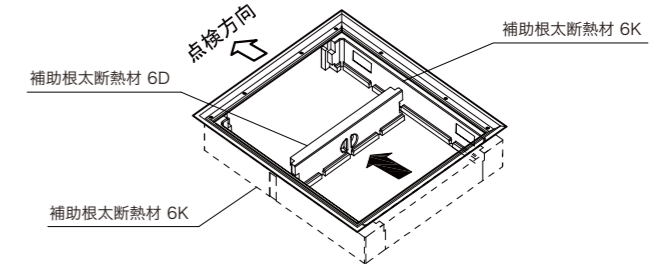
❗ お願い

コーススレッドを締めすぎないでください。
補助根太断熱材が破損するおそれがあります。



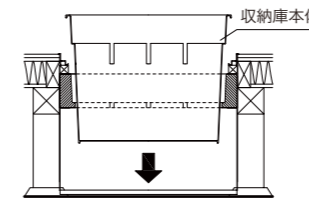
施工方法

② 補助根太断熱材(6D)をはめ込みます。
反対側も図と同様にはめ込んでください。



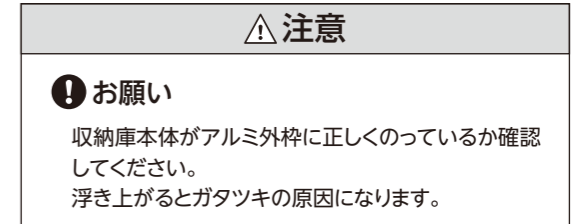
4 本体の取付

① 収納庫本体の上縁部をアルミ外枠にのせます。



本体吊金具なしの場合は、収納物の重量で収納庫本体が変形するおそれがあるため、ブロック、レンガ、モルタル等で収納庫本体の底部を受けてください。

また、モルタルで受ける場合は、収納庫本体との間にビニールシート等を入れてください。



⚠ 注意

❗ お願い

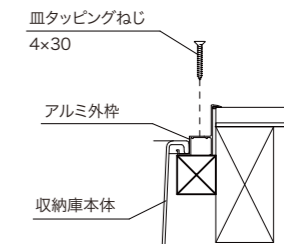
収納庫本体がアルミ外枠に正しくのっているか確認してください。
浮き上がるとガタツキの原因になります。

② アルミ外枠を血タッピングねじで補助根太に固定します。

⚠ 注意

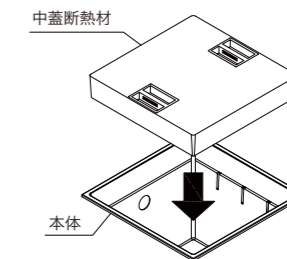
❗ お願い

血タッピングねじは強く締めすぎないでください。
アルミ外枠が変形するおそれがあります。



5 中蓋断熱材の取付

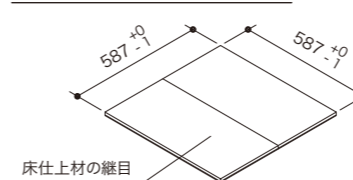
本体に中蓋断熱材をはめ込んでください。



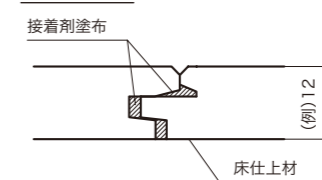
6 ふたの組立

① 床仕上材(別途)をカットします。ふた板の厚みが合計14.5mm以上になるよう、床仕上材に厚み調整板(別途)を接着して厚みを確保してください。接着剤は接着面全面に塗布して、十分な強度を保つようにしてください。

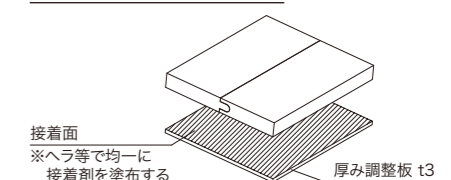
床仕上材(フローリング等)のカット



サネ部の接着



厚み調整板(合板等)の貼り付け



⚠ 注意

❗ お願い

フローリングのサネ部及びふた板と調整板の接着は確実に行ってください。
接着不良の場合、音鳴りの原因となります。

必ずふた板の厚みを調整してください。調整が不十分な場合、製品不良の原因になります。